

# 「しあわせる。富山」 開催結果について

重点的検討課題② クリエイティブ人材の育成・集積・活用

---

令和5年12月14日  
新産業戦略PT事務局

# 成長戦略のビジョン

「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けて、富山県成長戦略カンファレンス「**しあわせ。富山**」を開催します。

今回は「地方から新しいモデルをつくる。」をテーマに、各分野で地方から新しいマーケットやビジネスなどを生み出す多彩なゲストをお招きし、熱く議論を深めます。

13日(金)	14日(土)	15日(日)
<b>オープニングセッション</b> <small>(オンライン参加無料)</small> 17:30~18:45	<b>知事プレゼンテーション／基調セッション</b> 成長戦略セッション <small>(会場・オンライン参加無料)</small> 10:00~12:00 <b>スペシャルセッション</b> <small>(会場参加無料)</small> 13:00~17:15	<b>スペシャルセッション</b> <small>(会場参加無料)</small> 10:30~15:45
「つながる。コーナー(無料)」／「しあわせ。コーナー」 ※詳細は要届		

## Day 1 13日(金)

**1** オープニングセッション 17:30~18:45 オンライン参加のみ・無料  
**地方から新しいモデルをつくる。～しあわせデザイン公開会議～**  
 これからの時代は、地方でこそ自分らしくしあわせに暮らすことができる。地域社会が目指す未来のカタチや具体的なアクションについて、これまでの「しあわせ。富山」の登壇者を中心に生まれたプレーヤーコミュニティ「しあわせデザイン」のメンバーによる公開会議を開催します。

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
|  <b>明石博之氏</b><br>マツコ・プロデュース<br>アート・インベスティメント<br>代表 代表取締役 |  <b>徳田琴絵氏</b><br>ライオン<br>インハウス・PR・広報<br>H&Mのコミュニケーション |  <b>中川めぐみ氏</b><br>株式会社アール・代表取締役 |  <b>南部歩美氏</b><br>コトカタコト<br>代表取締役 |
|  <b>羽田純氏</b><br>株式会社アール 代表取締役                            |  <b>原井紗友里氏</b><br>株式会社アール 代表取締役                       |  <b>坂東法子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役  |  <b>前田大介氏</b><br>株式会社アール 代表取締役   |

## Day 2 14日(土)

**2** 知事プレゼンテーション／基調セッション 10:00~11:10 会場参加無料 オンライン参加無料  
**知事プレゼンテーション／基調セッション** **日本は地方こそ世界で輝け！～世界の中心より富山が輝く日本の可能性～**  
 地方の新しいモデルとして、世界中が注目している「ウェルビーイング先進地域」を模範として、富山県が進めている取組みを、知事知事からご紹介します。

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  <b>新田八朗氏</b><br>知事 |  <b>川原卓巳氏</b><br>Tasaku Inc. Founder<br>プロデューサー |  <b>近藤麻理恵氏</b><br>株式会社アール<br>代表取締役 |  <b>高木新平氏</b><br>株式会社アール<br>代表取締役 |
|--|--|---|--|

**3** 成長戦略セッション 11:10~12:00  
**「富山県成長戦略」は富山にどんな変化をもたらしたのか**  
 2021年2月にスタートした「富山県成長戦略会議」は3年目を迎えています。これまでの成長戦略の取組みを通して芽生えた化学反応を新しいモデルづくりにつなげるため、成長戦略会議の委員やプロジェクトチームのメンバーが、今後の展望を語ります。

- |  |   |   |
|--|---|---|
|  <b>石川善樹氏</b><br>株式会社アール 代表取締役     |  <b>熊野正樹氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>高木新平氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|  <b>藤井宏一郎氏</b><br>マツコ・プロデュース 代表取締役 |  <b>前田大介氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |   |

**4** スペシャルセッション ウェルビーイング経営 × 新しいモデル 13:00~14:15 会場参加有料  
**ウェルビーイングな未来の会社経営について語ろう**  
 「ウェルビーイング」という言葉を聞く機会が増えたここ数年、言葉は知っていても、会社経営で実践している企業はどれだけの会社でしょうか？会社で働く一人ひとりが、いきいきと自分らしくやりがいを持って能力を発揮することで、中長期的な会社の成長に繋がる未来の会社経営の在り方について、第一線で実践している皆さんと一緒に考えます。

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
|  <b>上原大輔氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>衣川由希子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>東出悦子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>張田真氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|---|--|---|--|

**5** スペシャルセッション 地域ブランディング × 新しいモデル 14:30~15:45 会場参加有料  
**「寿司と言えば、富山」地方ブランドは本当に作れるのか？**  
 「富山は何もない県。」そんな富山のイメージを変えるべく、県はこれまでにない一点突破型のブランディング戦略を打ち出しました。富山県が掲げる寿司戦略で、地方ブランドは作れるのか？世界に評価される企業をつくるウェルビーイング先進地域になれるのか？徹底的に議論します。




- |  |   |  |
|--|---|--|
|  <b>柏原光太郎氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>高木新平氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>中川めぐみ氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|--|---|--|

**6** スペシャルセッション まちづくり × 新しいモデル 16:00~17:15 会場参加有料  
**「アートでまちを変える」を考えてみよう**  
 地域の方々が、あるプロジェクトをきっかけに連携を深めていくことが、チームビルディングにつながり、地域の魅力を高める好循環を生み出す。という仮説。今回は、アートをきっかけに、地域が変える様々な「社会課題」を「魅力」に転換して、望む未来へとつなげていくための仮説について議論します。「アート」や「まちづくり」に興味のある人たちが集まり、具体的なアクションへのきっかけとなる場を目指します。

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|  <b>明石博之氏</b><br>マツコ・プロデュース<br>アート・インベスティメント<br>代表 代表取締役 |  <b>池田親生氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>坂東法子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>松田崇弥氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|---|---|---|---|

## Day 3 15日(日)

**7** スペシャルセッション スタートアップ × 新しいモデル 10:30~12:00 会場参加有料  
**なぜ、富山はスタートアップが少ないのか？**  
 熱意とアイデアあふれる起業家が生まれ、大きく羽ばたくには、強力なサポーターとのネットワークが不可欠。「起業が少ない富山」の現状を見つめ直して、スタートアップが生まれる場所に家賃を減らすための方法について議論を深めます。行政や学校・大学、金融機関や投資家、先輩起業家など様々な分野のサポーターと起業家が共に考え、つながり、チームとなる場を目指します。

- |  |   |   |
|--|---|---|
|  <b>榎本斗氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>廣岡伸那氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>藤野英人氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|--|---|---|

**8** スペシャルセッション 地域産業 × 新しいモデル 13:00~14:15 会場参加有料  
**「クリエイティブ」を活用したものづくり企業の成長戦略**  
 先行きが見えない時代の荒波を乗り越えていくために、ものづくり企業に求められているものは何か？クリエイティブ発想による、オンラインワンの製品開発や、未知の領域への事業転換など一先事例から、ものづくり企業が新たなチャレンジの一步を踏み出すためのヒントを探ります。

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
|  <b>岩本健嗣氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>榎川貴子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>島田亜由美氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>林千晶氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|---|---|--|--|

**9** スペシャルセッション 官民連携 × 新しいモデル 14:30~15:45 会場参加有料  
**官民連携の新しいカタチ～社会課題をビジネスに～**  
 人口減少や環境問題など…これまで行政が対応してきた様々な社会課題が複雑化し、山積する時代。それらをビジネスで解決する人たちに注目が集まっています。社会課題を創利的なビジネスに変えていくために必要な視点とは？今、民間企業と行政に求められている変化とは？ビジネスの分野から、社会課題や政策づくりにアプローチする「社会起業家」や「政策起業家」の方々と一緒に、官民連携の「新たなモデル」について議論を深めます。

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  <b>朝比奈一郎氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>入江智子氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>坂井要優氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |  <b>鷺見英利氏</b><br>株式会社アール 代表取締役 |
|--|---|---|---|

# 1. オープニングセッション

session

オープニングセッション

1

## 地方から新しいモデルをつくる。～しあわせデザイン公開会議～

10月13日（金）、オープニングセッション「地方から新しいモデルをつくる。～しあわせデザイン公開会議～」をKOTELO（立山町芦峯寺）で開催しました。これまでの「しあわせる。富山」の登壇者を中心に生まれたプレーヤーコミュニティ「しあわせデザイン」のメンバーが、地域社会が目指す未来のカタチや具体的なアクションについて話し合いました。



明石博之  
場ツクル・プロデューサー、グリーンノートレーベル株式会社 代表取締役

南部歩美  
藍染め屋aiya、つなぐプロジェクト

坂東法子  
家印株式会社、みらいまちラボ ホスピタリティ・マネージャー

徳田琴絵  
ライター / インキュベーション施設 HATCHコミュニケーター

羽田純  
株式会社ROLE 代表/デザイナー

前田大介  
前田薬品工業株式会社 代表取締役社長

中川めぐみ  
株式会社ウオー 代表取締役

原井紗友里  
株式会社オズリンクス 代表取締役社長

# クリエイティブ人材の育成に関するご意見

地域での取り組みを加速させる“新しいインフラ”とは

羽田さん

・職人の業界は全国的に生産力が落ちていて、売れていたものが売れなくなっている。行政は、「減ってきた職人たちをどう増やしてどう育てるか」というように、技術に対して補助金などの支援をしているが、そもそも売れる構造が成り立っていない。なぜ新しい道をつくるプロデューサー側を育てる構造がないのか。プロデューサーを育てた方が、僕は絶対にいいと思っている。

明石さん

・1、2店舗だけではどうしようもなくとも、20、30店舗となって、やっとそのまちの魅力が認められるタイミングが来る。建物自体がインフラというわけではなくて、そのまちに魅力を感じた人が来て、そこに新しい風が入って、「そのまちに何か魅力があるんじゃないか」と、また人が呼び寄せられる。これ自体がインフラではないか。そんな好循環が起こるようなインフラをつくっていただけたらよい。

・ディレクター、プロデューサーという立ち位置の人は苦勞してないというか、できて当たり前というか、支援が必要ないと思われる。

## 2. 地域産業×新しいモデル

session

地域産業 × 新しいモデル

# 8

## 「クリエイティブ」を活用したものづくり企業の成長戦略

10月15日(日)、スペシャルセッション「『クリエイティブ』を活用したものづくり企業の成長戦略」をKOTELO(立山町芦峯寺)で開催しました。先行きが見えない時代の荒波を乗り越えていくために、ものづくり企業に求められているものは何か。クリエイティブな発想による、オンリーワンの製品開発や、未知の領域への事業転換など、先進事例からものづくり企業が新たなチャレンジの一步を踏み出すためのヒントを探りました。



岩本健嗣

富山県立大学 工学部 情報システム工学科 教授



梶川貴子

株式会社フジタ 代表取締役



島田亜由美

株式会社杉山製作所 代表取締役



林千晶

株式会社QO 代表取締役社長

## 既存産業が「変わる」ポイント

島田さん（株式会社杉山製作所：鉄家具メーカー）

・売上が最盛期比で約3分の1に減少。受けている仕事に未来がないことが明確だった。何とかしなければとBtoBからBtoCへ舵を切る。自社で製造し価格が決められるように。

梶川さん（株式会社フジタ：アルミ鋳造金型等製造）

・加工業において自分たちの意見、クリエイティブを発揮できないことは不満だった。代表就任後、会社の次なる柱を探すためイノベーションスクールを受講。クラウドファンディングで目標を達成し、工場内にミュージアムを立上げ。

岩本さん

・社会や経済は少しずつ変わっているが、まだいけるという発想で「茹でガエル」になってしまう企業が多い。

林さん

・時間の移り変わりとともに事業の変化が必要だがなかなか難しい。会社に変化できるタイミングは不況と代が変わるとき。

・「こういうことをやっている会社がありますよ、それを支援してくれる人は一緒にこの会社を成長させてくれないか」といった気持ちで、“社会に対して会社を開く”ことが必要。現代の経営者は、たとえ下請けだとしても社会に開かないといけない。

# ものづくり企業にどうクリエイティブを活用していくべきか 製造業が取り組むべき「デザイン経営」

職場に対して「愛着や誇りがある」「成長するための学びや経験ができる環境がある」「夢や目標を実現できる場である」という設問について、製造業は、他の職業分野に比べて『いいえ』側が多い。

(令和4年度ウェルビーイング県民意識調査)

→結果も踏まえ、ものづくり企業にどうクリエイティブを活用していくべきか。

林さん

- ・いままでの経営は、不満を解決するという意味で「技術」が大切だった。  
これからの経営は、「デザイン」。商品やサービスのことをどう伝えるのかや、そもそも人は何に喜びを感じるのかということを考えないと経営していけない。
- ・現代は、私たちの生活が満たされている。何かを選択するときのポイントが「技術」ではなく「デザイン」の領域になっている。いままで製造業はつくることだけに特化できたが、これからは製造業こそがクリエイティブに取り組んでいかなければならない。

# 未来はどう変わり、自分たちはどうなっていたいか

梶川さん

- ・日本の製造業はマーケットが縮小していくと思う。ものをつくる力よりも、**アイディアをつくり出す力**の方が大事になる。
- ・現場があるからこそものをつくれる。ものづくりの現場は大事。現場を維持しつつ、**社員も私も様々な新しいことにチャレンジし続けられる会社**にしていきたい。

島田さん

- ・職人がかっこいいということを伝え続けたい。ものづくりの現場や職人を見て『杉山製作所の商品が欲しい』と言ってくれる人を国内外に増やしていきたい。
- ・会社を大きくするわけではなく、職人たちがちゃんと好きなものづくりをできるような環境をつくっていきたい。
- ・近年は社内プレゼンに力を入れている。**会社がどうありたいのかをしっかりと社員に伝えること**が経営者の役割であり、**デザイン経営**にも繋がるのではないかな。